

結婚 50 年を迎えて 大山町金婚式



結婚50周年を迎える町内在住のご夫婦をお祝いする大山町金婚式が、11月22日(いい夫婦の日)に保健福祉センターなわで行われました。

当日は、対象となった74組のうち41組のご夫婦が出席され、山口町長から一組一組に賀詞と記念品が贈呈されました。

出席者を代表し、長野の長原幸充・淑子夫妻が「戦後の復興期から今日まで、夫婦で懸命に過ごしてきました。このように盛大なお祝いをいただきありがとうございます」と謝辞を述べられました。

式のあとは祝宴が催され、公民館サークルによる祝舞などが披露されるなか、出席された皆さんは和やかに歓談されました。

これからも夫婦仲良く元気に過ごしてください。

大山肉牛の肉質を競う

第2回枝肉共励会

大山肉牛の品質の向上を目的とした、J A 鳥取西部汗入営農センター大山肥育部(安藤幹雄部長)の第2回枝肉共励会が12月3日、鳥取県食肉センター(小竹)で行われ、黒毛和種18頭が肉質を競った結果、最優秀賞首席と優秀賞2席に石賀成明さん(田中)、優秀賞1席に安藤幹雄さん(大中尾)が輝きました。

今回は、中山地区から7人、伯耆町から1人が出品し、18頭中11頭に格付A・4以上が付きました。出品牛の販売実績は、1キロ当たりの平均単価が2千13円(税抜き)、1頭当たり96万3千163円でした。

表彰式では、主催者を代表して鳥取西部農業協同組合の谷本晴美代表理事常務が「大山肥育部が西部の大山ブランドのたごあげの契機になるよう努力してほしい」とあいさつしました。最優秀の石賀さんの牛は、枝肉重量は平均を大きく上回り、ロース面積66平方センチ、バラ厚9.4センチ、皮下脂肪1.9センチ。肉の霜降り度を示す

BMS(最高12)が10、肉質等級はA・5。販売額は1キロ2千900円でした。石賀さんは、「子牛を世話していただいた農協の方を含め、みなさんの協力のおかげです。牛と人間の息も合ったのでしよう」と話しておられます。

また、12月7日に大阪市食肉市場で行われた鳥取県牛肉販売協議会主催の牛枝肉共励会で、石賀さんは県下から出品された48頭中、優秀賞2席(第3位)に輝きました。



肉質最優秀の石賀さんと並ぶ最高価格の購買者は、花房社(写真左)と石賀さん(写真右)の株式会社はなぶ(写真左)の社長

町体協綱引部 県大会惜敗！準優勝！



試合後の意欲的な綱引部員

鳥取県綱引選手権大会が12月16日(日)に三朝町で開かれ、大山町体協綱引部が出場しました。

大会には県内から多数のチームが出場し大山町体協綱引部は昨年に引き続き惜しくも準優勝となりました。大会の様子は、当日、山陰放送とNHKで放送されました。

前田繁之部長は「残念だったが、この気持ちを大切に明日へつなぐたい」と、すでに気持ちは全国大会へ向かっていました。

練習を、毎週月・水・土曜日の20時30分から22時まで、中山中学校で行っています。健康と美容のためにいかがですか？